

# ツインリングマルチブック作成におけるの注意点

弊社ではデータ着信後、印刷が出来るデータかどうかチェックを実施致します。ただし、文字の入力ミスやデザインおよびレイアウトなどに関しては、データチェックの対象とはなりません。

またデータに不備が発見された場合、サーバーのデータを削除し、修正箇所をご連絡致しますので、教室の方で修正いただいた後に再入稿していただきます。再入稿の場合はその分納期がずれ込む可能性がございます。

**必ず本注意事項を熟読頂き、版下作成をお願い致します。**

## テンプレートについて

テンプレートのページ数は決まっています。削除や追加はしないようお願い致します。

枠線（塗り足し部分・穴あき部分・仕上がり線）と説明部分が分けてグループ化されています。  
(Wordテンプレートのみ)



レイアウトをする前に説明部分が不要な場合は削除して下さい。  
削除方法につきましてはP4~P6をご参照下さい。

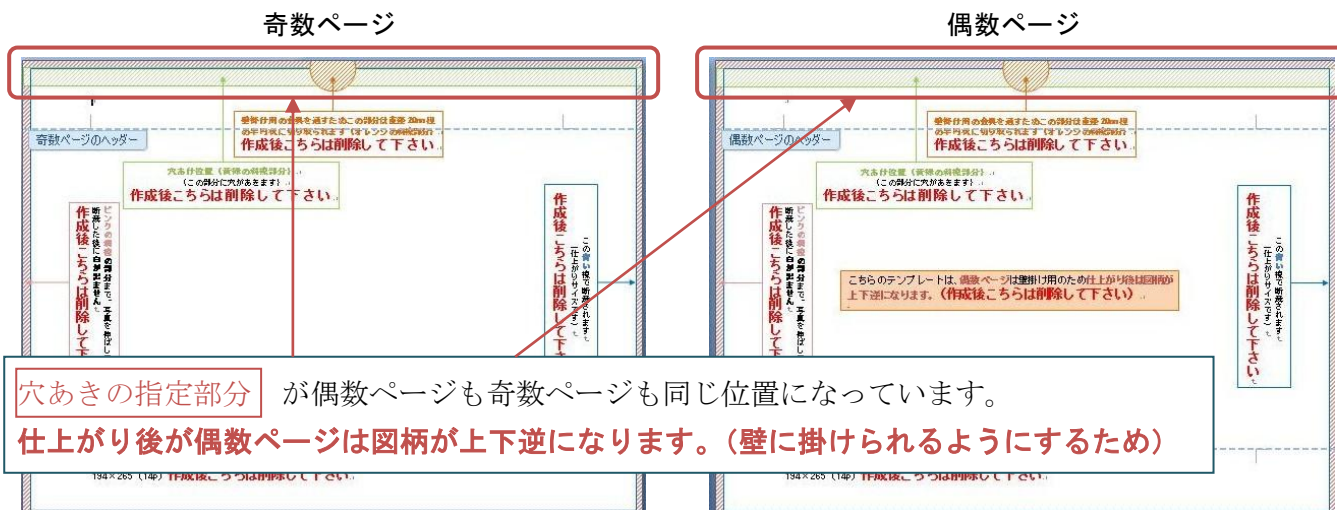
### ① TY0414 について

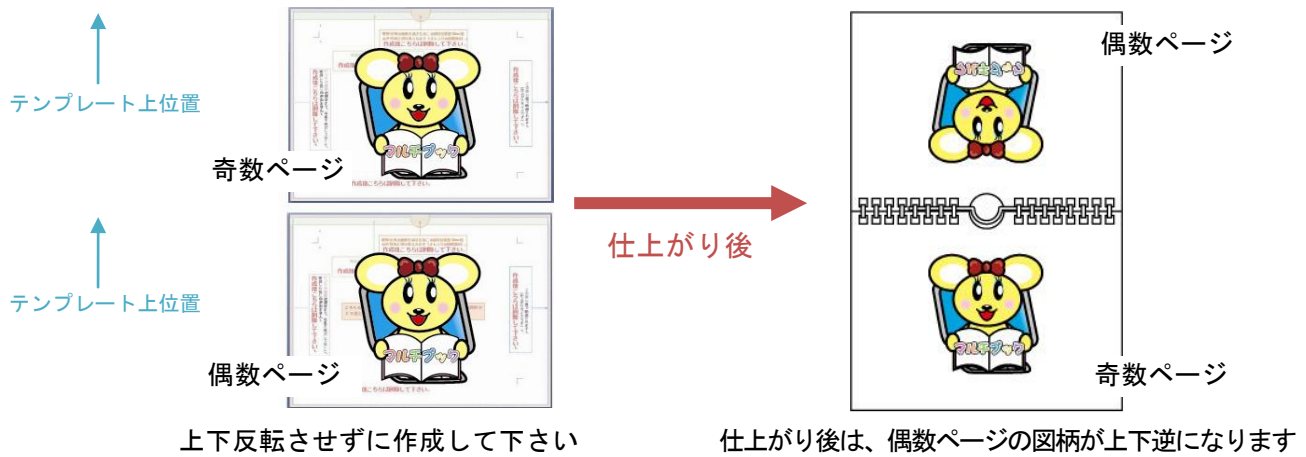
TY0414 は他と異なり、**カレンダー用としてリングに壁掛け用のフックが付いており、14ページのみ**となります。表紙と裏表紙、本文12ページとして1ページに1カ月のカレンダーを作成できるようになっています。



もちろん、カレンダーだけではなく他にも使うことができます。

### TY0414 テンプレート





## ② 塗り足し

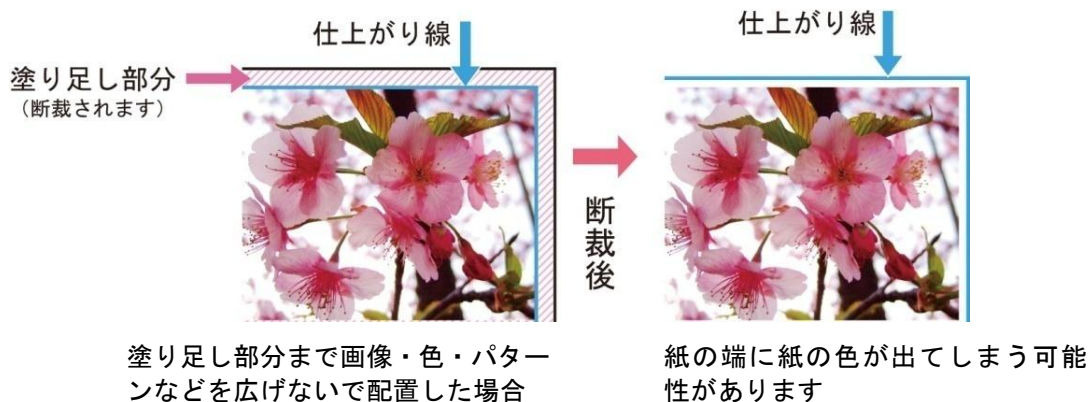
テンプレートは、実際の仕上がりサイズより**上下左右 3mm ずつ大きいサイズ**になっています。(テンプレートではピンクの斜線部分になります。)

仕上がりサイズいっぱい写真やパターン、色などを入れたい場合はピンクの斜線部分まで広げておく必要があります。(ピンクの斜線部分のことを、**塗り足し**と呼びます。)

### なぜ？

印刷は家庭用プリンタのように仕上がりサイズの紙で印刷をするのではなく、大きな紙に数ページを配置して印刷をします。印刷をした後に仕上がりサイズに紙を断裁しますが、一枚一枚ではなく、一度に大量の印刷物を断裁機で断裁していきます。しかし断裁の際に微妙なずれが生じる場合があります。微妙なずれが生じてしまっただけで、印刷する用紙の色が出てしまいます。それを避けるために上下左右 3mm ずつ写真やパターン、色の幅を広げておく必要があります。

**塗り足し部分は断裁されてしまいます。**



## ③ 穴あき

リングで綴じられる部分には穴があきます。(テンプレートでは、**黄緑色の斜線の部分**が穴があく位置になっています。)

リングが表紙から見て左側に通るマルチブックの場合 (TT0508～TT0532、TY1208～TY1232、TT0408～TT0432)

- **奇数ページ** テンプレート**左側**の仕上がり線から 8 mm 内側の部分に穴があきます。(塗り足しを含めると 11mm になります)

- **偶数ページ** テンプレート**右側**の仕上がり線から 8 mm 内側の部分に穴があきます。(塗り足しを含めると 11mm になります)

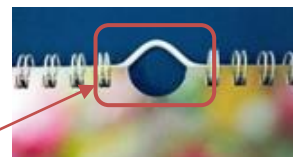
TY0414 について

### リングが表紙から見て上側に通るマルチブックの場合 (TY0414)

- テンプレート**上側**の仕上がり線から 8 mm 内側の部分に穴があきます。(塗り足しを含めると 11mm になります)

簡易テンプレートは除く

また、壁掛け用のフックが付きますので、テンプレート上側中央は**直径 20mm**程度の半円状に切り取られます。



穴あけ部分に、顔写真と文字を乗せた場合



顔と文字の部分に穴があいてしまい、文字は読みづらくなります

#### ④ 写真の配置

仕上がり線の内側に写真が収まるように配置したい場合は、**仕上がり線から最低でも 5 mm 程内側に写真を配置**して下さい。(文字も同様です)

#### なぜ？

紙が性質上の問題から伸び縮みした状態で断裁した場合や断裁の際に微妙なずれが生じた場合、仕上がり線から若干の余白を残し配置した写真や文字は断裁されてしまう可能性があります。

#### ⑤ 使用する画像データについて

画像やイラストなどデータの著作権や肖像権、個人情報に関連するデータ (名簿など) は**必ず使用規則を確認した後**に使用して下さい。

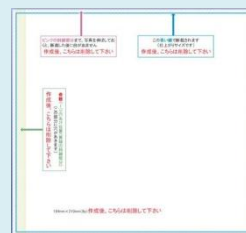
#### ⑥ 図形・線・文字などの注意点

- ・ Word や PowerPoint の影効果、ぼかし効果、透明効果が正しく出力されない場合があります。
- ・ 文字は画面で表示されているものより多少太くなる場合があります。
- ・ 写真の暗い部分 (シャドウ部) は濃淡が出にくい場合があります
- ・ 細すぎる線 (約 0.3pt 以下) は太く出力される場合がありますので、なるべくそれ以上の太さの線を入れてください。また、黒地に細い線を入れますと、正しく出力されない場合もあります。
- ・ **リング式においては印刷の特性上、スミベタ (黒) に若干ムラが出る可能性があります。**

## PowerPoint テンプレート注意点

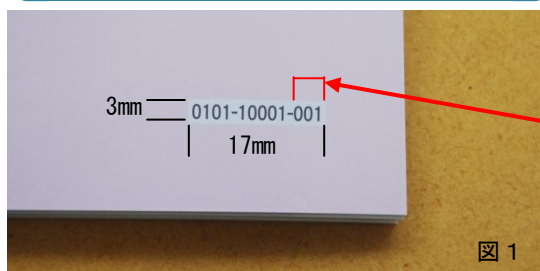
背景スタイルを使用し注意事項が挿入されているため、**PowerPoint 背景デザイン機能を使用する際は、全ページの写真のレイアウトをしてから使用して下さい。**（一度設定してしまうと、注意事項が消えてしまうため）詳しくは、「**⑧PDF に変換する前に**」を参考して下さい

図形を挿入し最背面に配置する方法でも構いません。



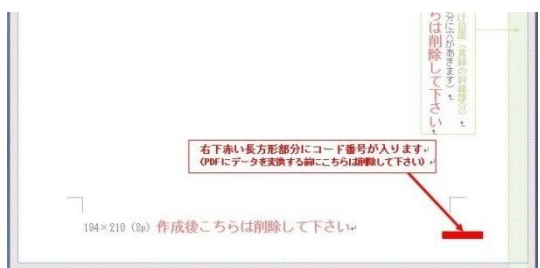
画像として背景スタイルで挿入されています

### ⑦ コード番号挿入について



仕上がり後、製造管理のため、最終ページの右下に図1のように白い長方形上 (3mm×17mm) にコード番号が挿入されます。

こちらのコード番号下3桁と注文書記載のコード番号下3桁は同じになりますので、生徒の方に配布する際にお役立て下さい。



テンプレートの最終ページ右下に注釈を入れてありますので、そちらを目安にレイアウトをして下さい。(図2)

図2

### ⑧ PDF に変換する前に

使用したフォントがインストールされていないパソコンで変換すると、フォントが代替フォントに置き換わってしまいますので、正しい出力結果を得られなくなります。

全てのページに画像を配置後、表示されている説明部分などを消した後に、PDFデータへの変換を行って下さい。

### Word テンプレート消し方

(ヘッダーフッターで作成されているもの (ツインリング型全テンプレート共通))

(偶数ページと奇数ページに分かれてヘッダーフッターで作成されています)



図1

①「挿入」タブをクリック⇒「ヘッダー」ボタンをクリック (図1)



②「ヘッダー」ボタンをクリックすると、「ヘッダー」ボタンの下に「組み込み」というヘッダーの一覧が表示されます。その下の「ヘッダーの編集」をクリック(図2)するとヘッダーが編集できる状態になります。(塗り足し部分の網掛けや仕上がり線、穴あき部分の指定などが濃く表示されます(図3・図4(TY0414)参照))

図2

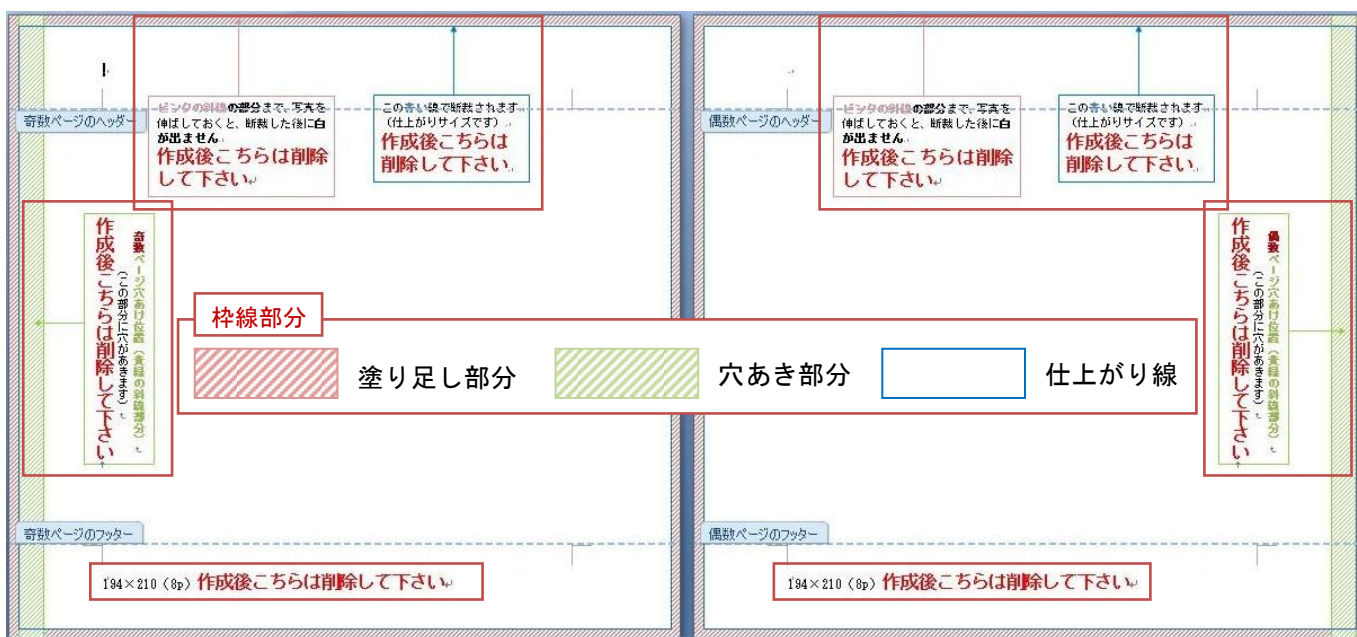


図3

図3において赤い枠線で囲まれているものは、不要な部分です。不要な部分は説明部分と枠線部分2段階に分けてグループ化されています。枠線部分どちらか一つクリックすると全ての枠線部分が選択されますので、削除して下さい。(説明部分も同様です。)

(奇数ページを削除した場合は、全ての奇数ページの不要な部分が同時に削除されます。偶数ページも同様に削除して下さい。)

### ヘッダーフッターで作成されていないもの(ツインリング型全テンプレート共通)

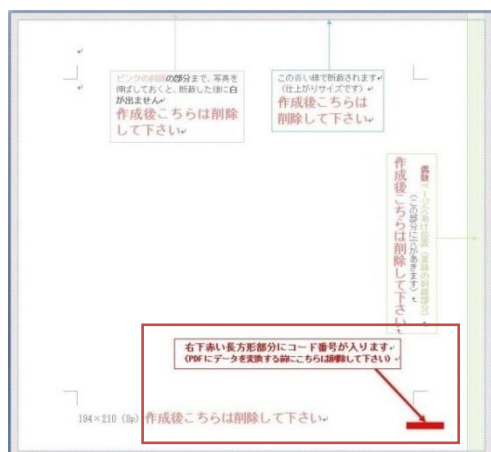


図4

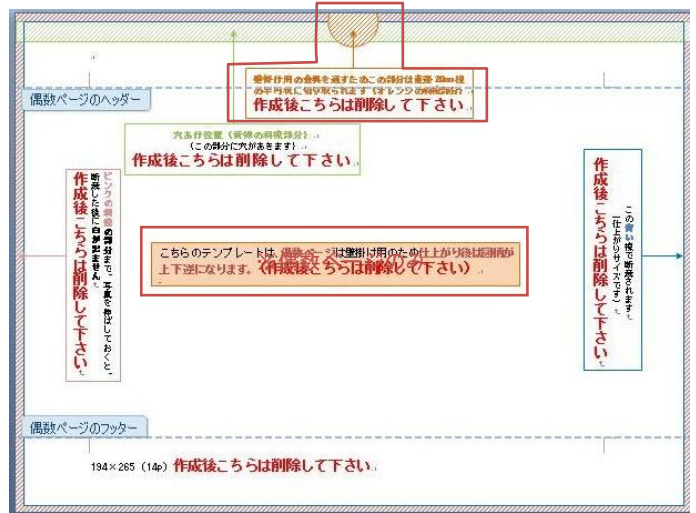
最終ページの右下にあるコード番号挿入部分は、ヘッダーフッター機能で作成されていません。

グループ化されているので、テキストボックスや図形と同様に削除をするとすべて消えます。

## TY0414のみ削除するもの

前ページ図3・図4に記載されているツインリング型全テンプレート共通部分の他に、TY0414のみ右図赤い線で囲まれた部分も不要な部分です。

こちらも説明部分と枠線部分と分かれてグループ化されていますので、同様に削除して下さい。  
(奇数ページを削除すると全ての奇数ページの不要部分が同時に削除されますので、偶数ページも同様に削除して下さい。)



## PowerPoint テンプレート消し方と背景挿入方法 (全種類共通)

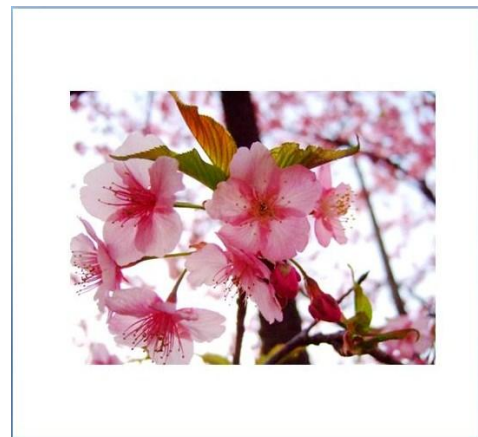
(背景にテンプレート用の画像が挿入されています)



- ① 「デザイン」タブをクリック  
 下に背景デザインの一覧が表示されます。



- ② 背景のスタイルをクリック  
 下に背景のスタイル一覧が表示されますので、背景スタイルを選択しクリック (ここでは背景を白くするためにスタイル1を選択)



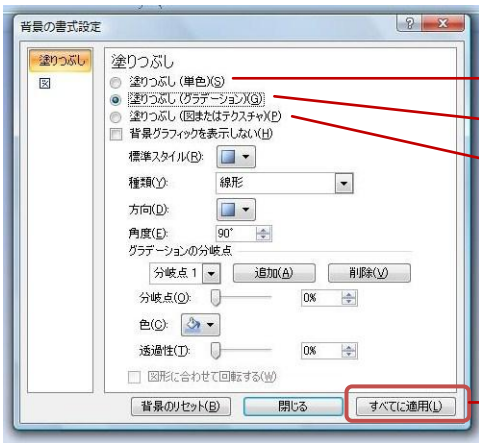
- ③ PowerPoint テンプレートは、全てのページの不要部分が消えます

## 背景色を指定・グラデーションにし、不要部分を削除する場合



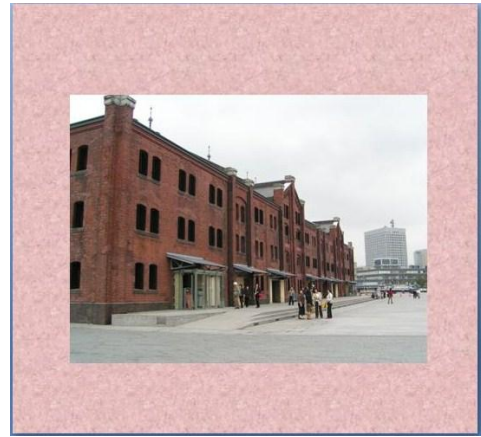
- ① 上記①のデザインタブから「背景のスタイル」をクリック  
 背景のスタイルの一覧の下にある「背景の書式設定」をクリック

② 「背景の書式設定」ウィンドウが表示されます。



- 背景を単色に塗りつぶす場合に選択
- 背景をグラデーションに塗りつぶす場合に選択
- 背景に図やテクスチャを挿入したい場合に選択

「すべてに適用」をクリックすると、全ページに適用されます。



上記のように背景が変わります。(右はテクスチャを選択した結果)

### 背景デザイン機能から背景を挿入し、不要部分を削除する方法



① 「デザイン」タブをクリック

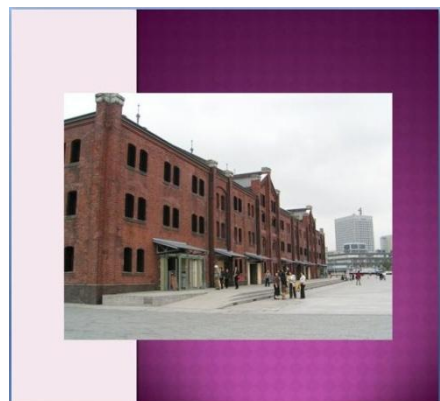
下に背景デザインの一覧が表示されるので、デザインを選択 (ここでは、左から6番目を選択します)



② 背景デザインを選択した後も不要部分は残ります。

「背景のスタイル」をクリック

スタイル一覧から選択をするか、背景の書式設定から背景色を変えて下さい。



PDFデータで表示されているものが印刷されますので、必ずテンプレートの不要部分はすべて消して下さい。

### ⑨ 印刷イメージ

画面上の色とできる限り近い状態に仕上がるようにしておりますが、**画面上の色と製品の色は必ずしも同じ色にはなりません**ので、**PDFデータをご自分で印刷し**、仕上がりイメージを確認していただくことをお勧めします。